

R2年10月3日(土)

テーマ：がん薬物療法の動向、治療と患者支援の実際

講師：上地 弘美先生 新宮市立医療センター
がん化学療法看護認定看護師

場所：ビッグU (田辺市)

参加者：19名

ねらい がん薬物療法に関わる看護師の特徴と役割について理解する。
がん薬物療法の目的、治療計画、レジメンについて理解する。
がん薬物療法による副作用の対策とセルフケア支援について理解する。
がん薬物療法の意思決定支援の実際について理解する。



「がんサバイバーとは」
がんと診断されてから死亡するまで
の人 → がんと向き合い、みずか
らの意思でがんとともに生きていこ
うとする人

発がんの仕組みから薬物療法の
知識、薬物療法時の看護につい
てくわしく説明してくれまし
た。受講者は、真剣に聞き入っ
ています。

がん薬物療法を継続する患者の揺らぎ
希望：生活の維持・社会復帰・治療が奏功しがんの消失・延命
ストレス：がんの診断と共存し生き抜き乗り越える。

「揺らぎ」に寄り添える看護職になれますように!!!

R2年10月10・11日(土・日)

テーマ：糖尿病重症化予防（フットケア）

講師：古田浩人先生 和歌山県立医科大学附属病院 准教授
藤原優子先生 大阪大学医学部附属病院 外来看護師長
金本純子先生 橋本市民病院 糖尿病看護認定看護師
山本美子先生 県立医科大学附属病院 糖尿病看護認定看護師
山崎亨子先生 紀和病院 糖尿病看護認定看護師
小畑香寿美先生 済生会有田病院 糖尿病看護認定看護師

場所：看護研修センター

参加者：20名

研修時間が9:00～18:10と非常に長く2日間あるため、受講生も講師も大変な研修会だった。

研修会はアセスメントからきっちり行い、演習では足の観察・フットケアの方法をひとつひとつ丁寧に指導を受けた。



アセスメントからプラン
(グループワークで)



ワーク後はプロジェクターに
映して発表



講義中



足の観察から爪切りまで

R2年10月20日(火)

テーマ：新人のための医療安全

講師：山本 有美先生 和歌山労災病院
医療安全管理者

場所：和歌山県看護協会 看護研修センター 大ホール (海南市)

参加者：49名

ねらい 医療安全の基本的知識を学び、患者および自分を守る重要性を理解する。

人は誰でも間違える（ヒューマンエラー）の理解から!!!



自分のエラーパターン診断テストをしています。

KYT(Kiken Yochi Training)

KY モデルシートを用いて、グループワークで学びを深めました。

参加者のほとんどが今年の3月卒業者でした。帰りには、看護協会の駐車場で、立ち話ひとしきりでした。



R2年10月24日(土)

テーマ：身体抑制のない看護

講師：小池京子先生 大誠会内田病院
認知症看護認定看護師

ファシリテーター：稲垣伊津穂先生 名手病院
看護部長

場所：看護研修センター

参加者：55名

先生は群馬県の病院で勤務されており、今回はWebでの講義を受けた。
ファシリテーターの先生はこちらに来ていただき、Webで先生と確認しながら進行する。

講義・グループワーク・発表があり、グループワークでは皆さん活発な意見交換をしていた。

先生のお顔はこちらから



ファシリテーターの稲垣先生から助言を
いただきながらグループワーク中



グループワーク後には発表